指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	神林いこいの家	評価対象年度	平成　28　年度
指定管理者名	村上市レクリエーション協会	所管課	介護高齢課
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日（5年）	評価者（課長）	小田　正浩

①事業実績

利用実績	延べ利用人数　2,569人
サービス向上の取り組み	利用者の要望を聞いて、備品などの更新しサービスの向上を図る。

②管理経費

区分		前々年度（26年度）	前年度（27年度）	当該年度（28年度）	合計	備考
収入	指定管理料	3,810,000	3,802,000	3,998,000	11,610,000	指定期間における指定管理料の総額：11,397,000円
	利用料金					
	自主事業収入					
	その他	282	278	18	578	預金利息
	計	3,810,282	3,802,278	3,998,018	11,610,578	
支出	管理経費	3,820,011	3,843,726	4,025,743	11,689,480	
	（うち人件費）	1,619,750	1,601,750	1,994,500	5,216,000	
	（うち光熱水費）	958,944	467,419	463,021	1,889,384	ガス、水道、電気、灯油、ガソリン
	（うち修繕費）	120,621	112,891	57,159	290,671	
	（うち委託料）	746,532			746,532	
	（うちその他）	374,164	1,661,666	1,511,063	3,546,893	消耗品費、車両燃料費、通信費、使用料賃借料、税金等
	自主事業費					
	計	3,820,011	3,843,726	4,025,743	11,689,480	
差引		▲ 9,729	▲ 41,448	▲ 27,725	▲ 78,902	

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	4	8.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
	（評価理由） 施設の管理運営方針についてスタッフおよび利用者で理解し、に周知しを適正に行い、良好に管理運営を行っている。				
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	3	6.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映してさせているか	8	4	6.4
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
	自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	3	2.4
		利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか			
	（評価理由） 利用者と積極的にコミュニケーションをとり、要望等に対応しながら、サービスの向上に努めている。また、利用者からの苦情や意見に対しても適切に対応している。施設の利用状況としては、生きがい活動支援通所サービス（市委託事業）の利用者が多く、その他の団体利用が月に1、2回程度となっており、施設利用のPRや自主事業について具体的な取り組みを検討し、施設の利用促進に繋げることが必要である。				
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費縮減の具体的な取り組みはされているか			
	適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4
		指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか			
	（評価理由） 節電、節水、冷暖房の適正な温度管理、送迎車の効率的な運行を実施し、経費の節減に努めている。				

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員（人数・有資格者等）が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか（人員配置、マニュアル、訓練等）	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール（規則・マニュアル等）と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	（評価理由） 市の委託事業に関わるスタッフと連携しながら、救急法やAEDの使い方の講習会を行い、火災訓練を年間2回実施し、非常時の対応に備えている。各スタッフと連携調整しながら施設の管理運営に取り組んでいるが、利用者に不都合が生じないように、スタッフを必要なところに配置し、適切な管理運営に努める必要がある。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	（評価理由） トイレ、ボイラー等の設備の保守点検を定期的に実施し、利用者からの要望等を聞きながら消耗品や備品等を整え、適切に対応している。				

④総合評価

評価点合計	76.4	評価ランク	B

⑤管理運営に対する全体的な評価

委託事業との連携により、サービスの向上を図り、利用者の要望等には迅速に対応し、適切な施設の運営管理に努めている。市の委託事業の実施により、利用者がほぼ固定している状況になっているが、各種団体に利用を呼びかけ、施設のPRを行いながら今後も利用促進に向けて取り組んでいく必要がある。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

利用の促進につながる自主事業の検討を行い、施設運営の活性化を図り、適切なサービスの提供に努めること。人員配置については、施設長（施設管理者）として、いこいの家の業務全体の統括に専従する者を必ず置くこと。

記入要領

・「評価段階」は5段階（5～1）により評価を行うこと。

・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク区分

S　95.0以上

A　80.0以上95.0未満

B　60.0以上80.0未満

C　60.0未満